

素材革命が拓く 総合フィルタメーカーへの未来像

ヤマシンフィルタ株式会社
会社説明プレゼンテーション

東証一部

証券
コード

6240

I

ヤマシンフィルタについて

P 2

II

事業環境・中期的な展望について

事業ポートフォリオの拡大により総合フィルタメーカーへ

P 9



I
ヤマシンフィルタについて

仕
濾
過
事

ろ
か
じ
に
つ
か
ふ
る

フィルタビジネスを通じて社会に貢献する

建機(建設機械)向け油圧フィルタを中核に ニッチ・トップ・グローバルなビジネスを展開するフィルタメーカ

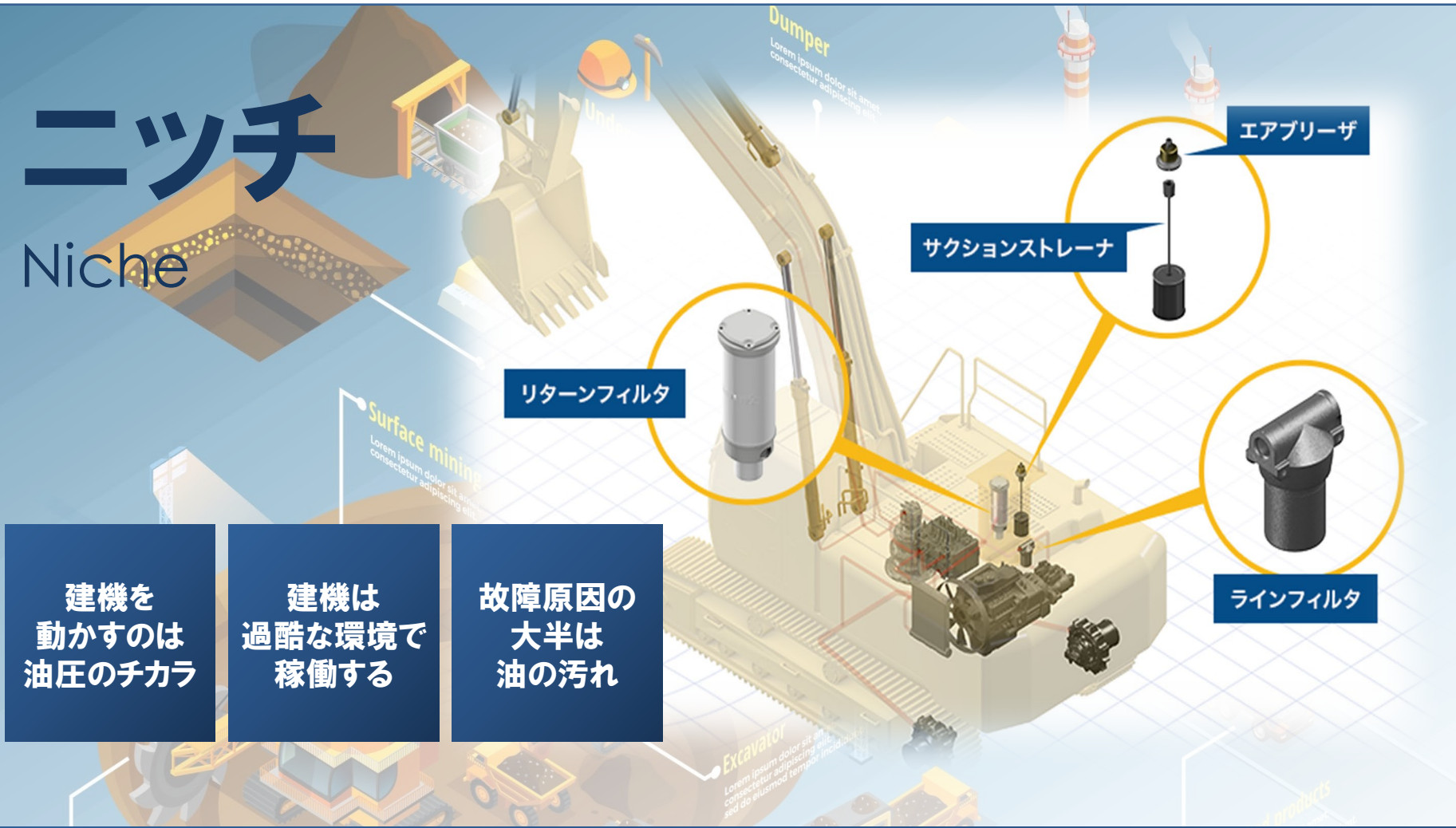
ニッチ
Niche

グローバル
Global

トップ
Top

ニッチ

Niche



建機を動かすのは油圧のチカラ

建機は過酷な環境で稼働する

故障原因の大半は油の汚れ

ニッチな市場ながら、油圧フィルタは建機寿命の生命線

グローバル

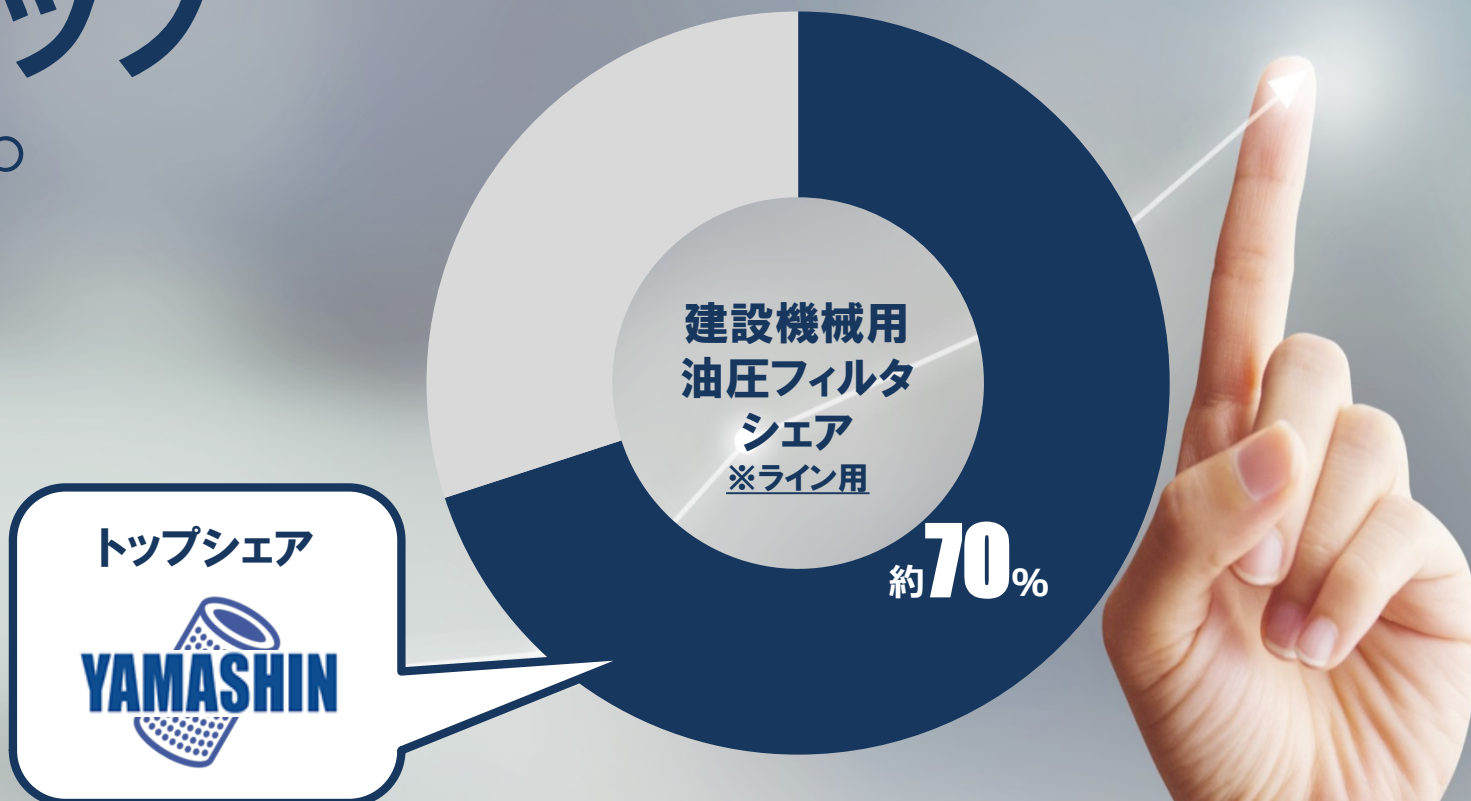
Global

グローバルに広がる
開発・設計、製造、販売拠点



トップ

Top



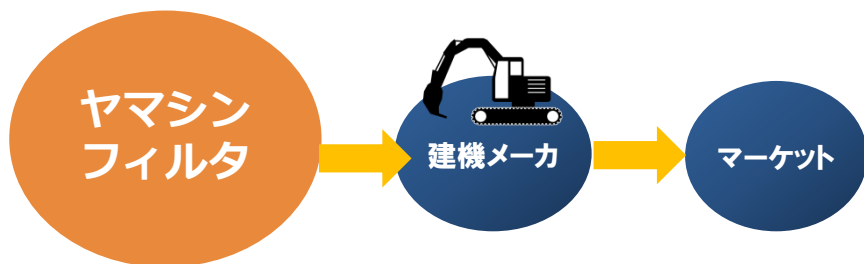
国内における主要建機向け油圧フィルタ売上シェア（2012年度）
出典：矢野経済研究所

建機向け油圧フィルタで業界ダントツのトップシェア

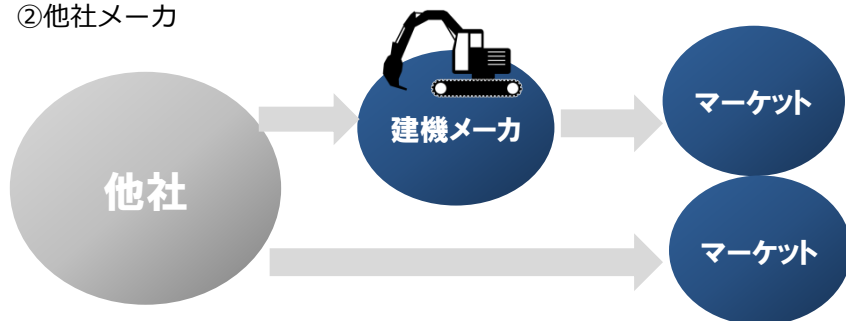
補給品は建機メーカーへの販売のみという方針を徹底
各社から圧倒的な信頼感を獲得し、安定的な利益を創出

他社と異なるアフターマーケットのビジネス形態

①ヤマシンのビジネスモデル

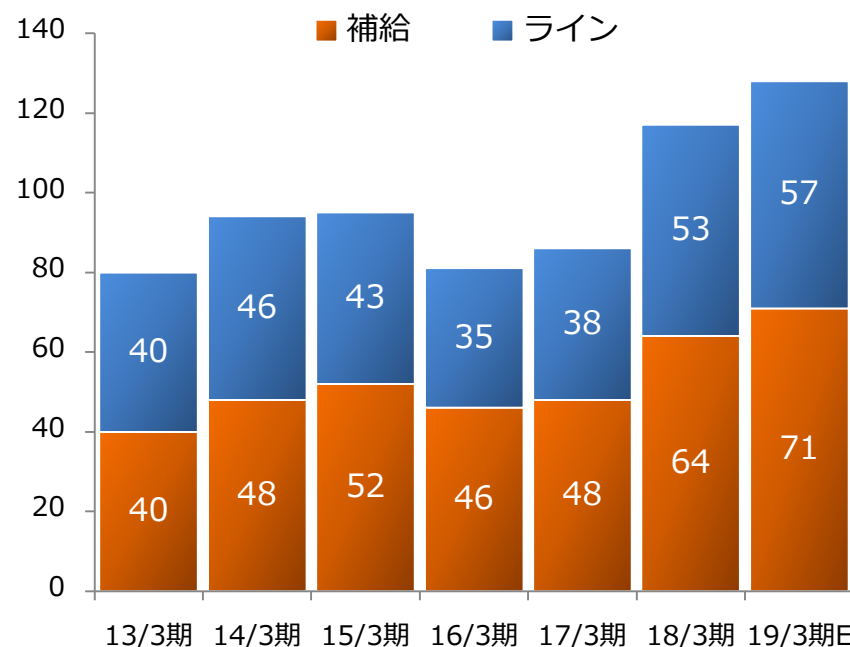


②他社メーカー



補給・ラインの売上高推移

(単位：億円)



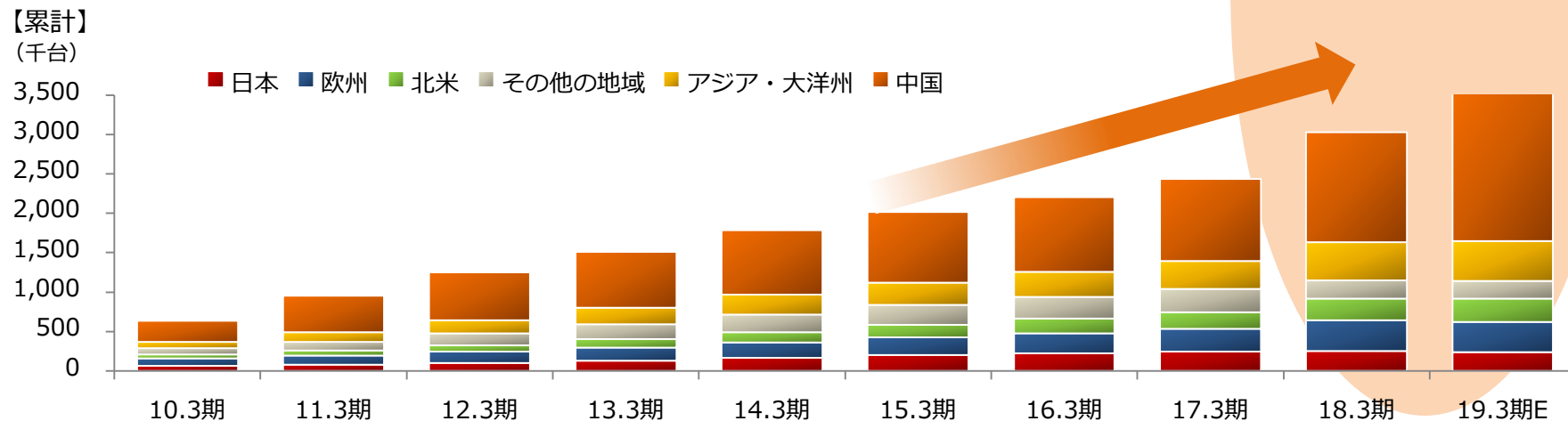
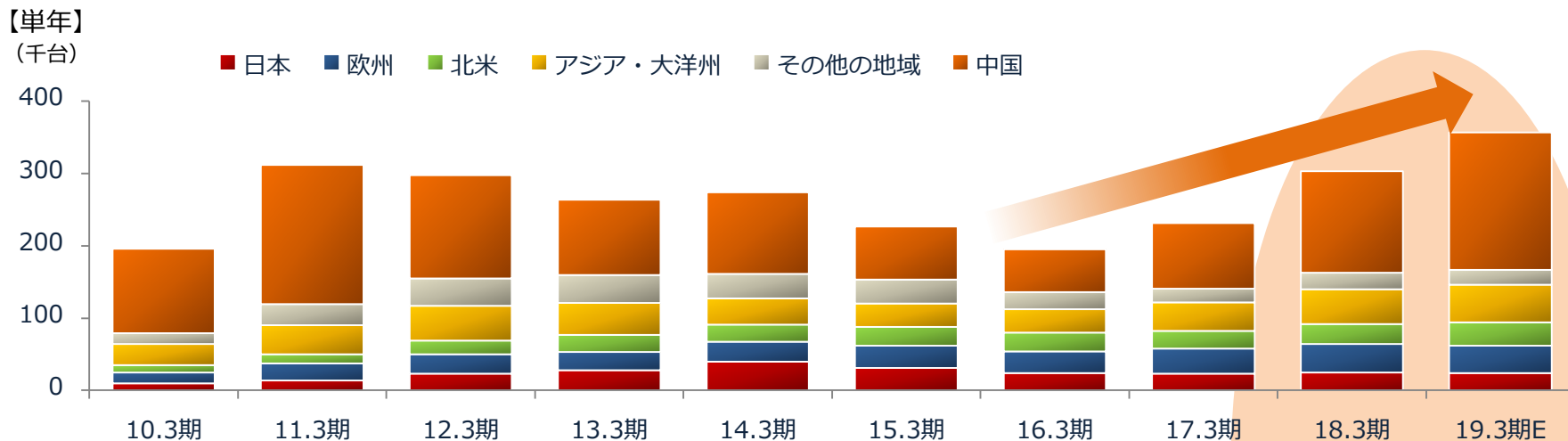
ライン品でのシェアは補給品のシェアに直結する



II 事業環境・中期的な展望について

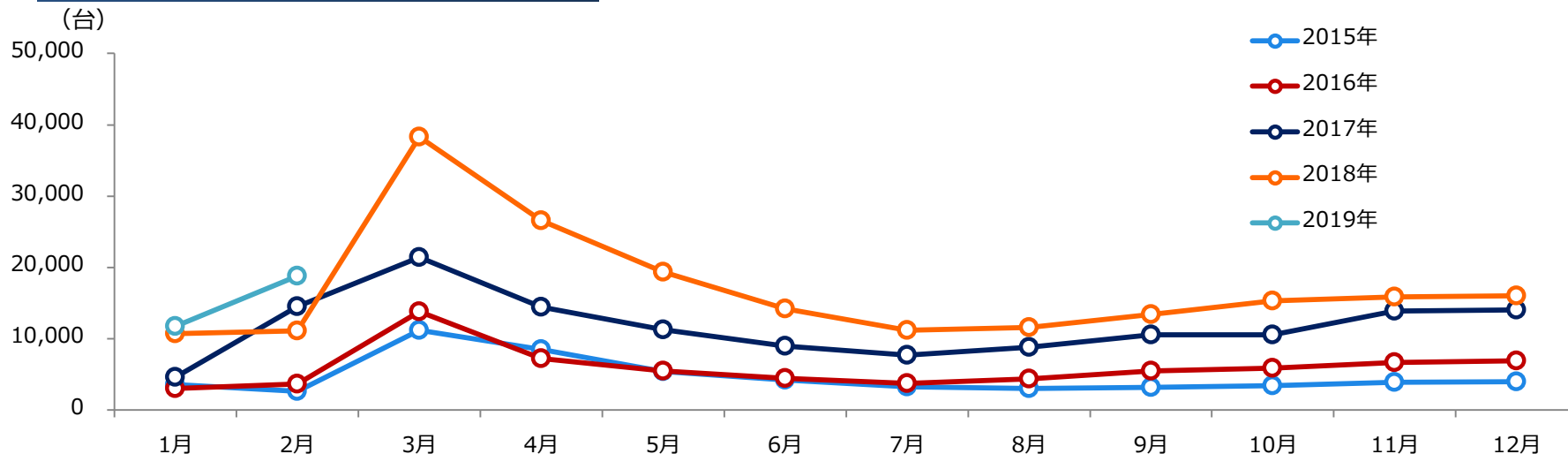
事業ポートフォリオの拡大により総合フィルタメーカーへ

中国市場の減速感は出つつも、各地域で堅調に推移



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

年度別販売推移（月別）



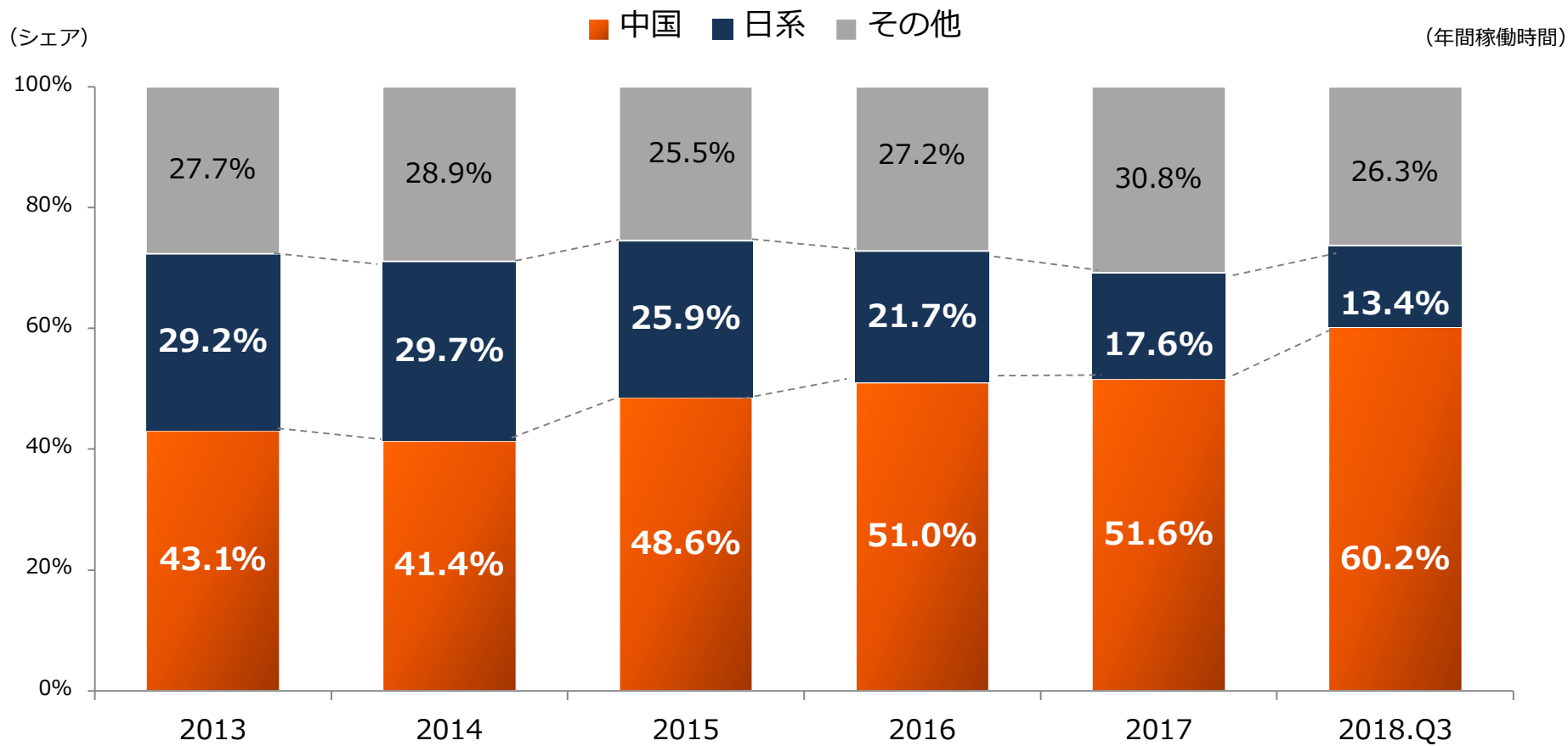
全人代 2019年経済目標・予算

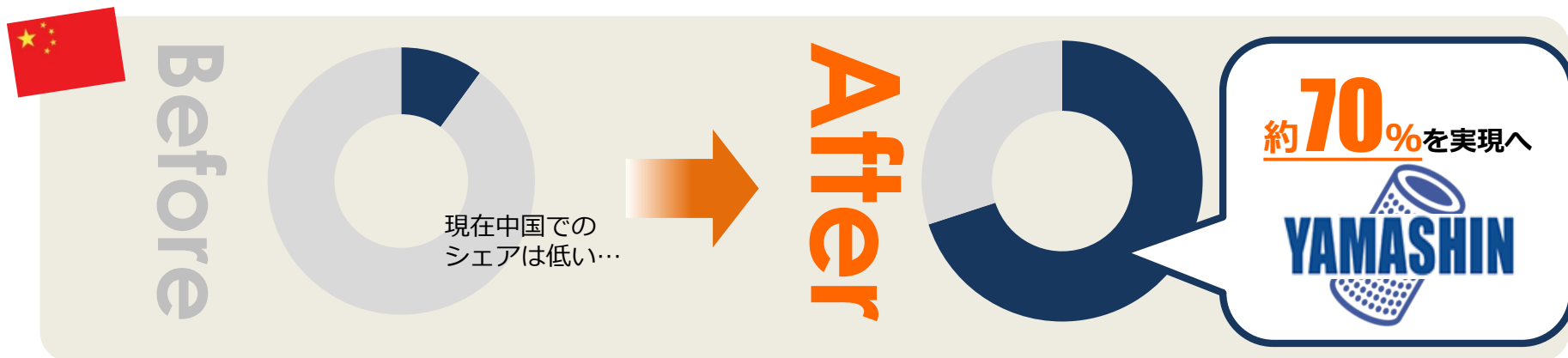
項目	2019年	前年・従来
経済成長率	6~6.5%	6%
都市部の新規雇用	1,100万人	1,100万人
地方特別債の発行枠	2兆1,500億元	1兆3,500億元
防衛予算	1兆1,898億元	1兆1,069億元
財政赤字のGDP比	2.8%	2.6%

**インフラへの
投資拡大**

日系メーカーのシェアが下がり、中国ローカルメーカーのシェアがUP

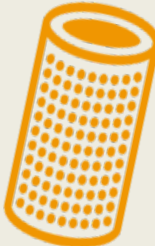
中国市場 販売シェア推移






**ディーゼルエンジン
排出ガス規制
「Tier4」**

- 2020年12月1日 規制開始
- 各社新型モデルを早急に開発対応中



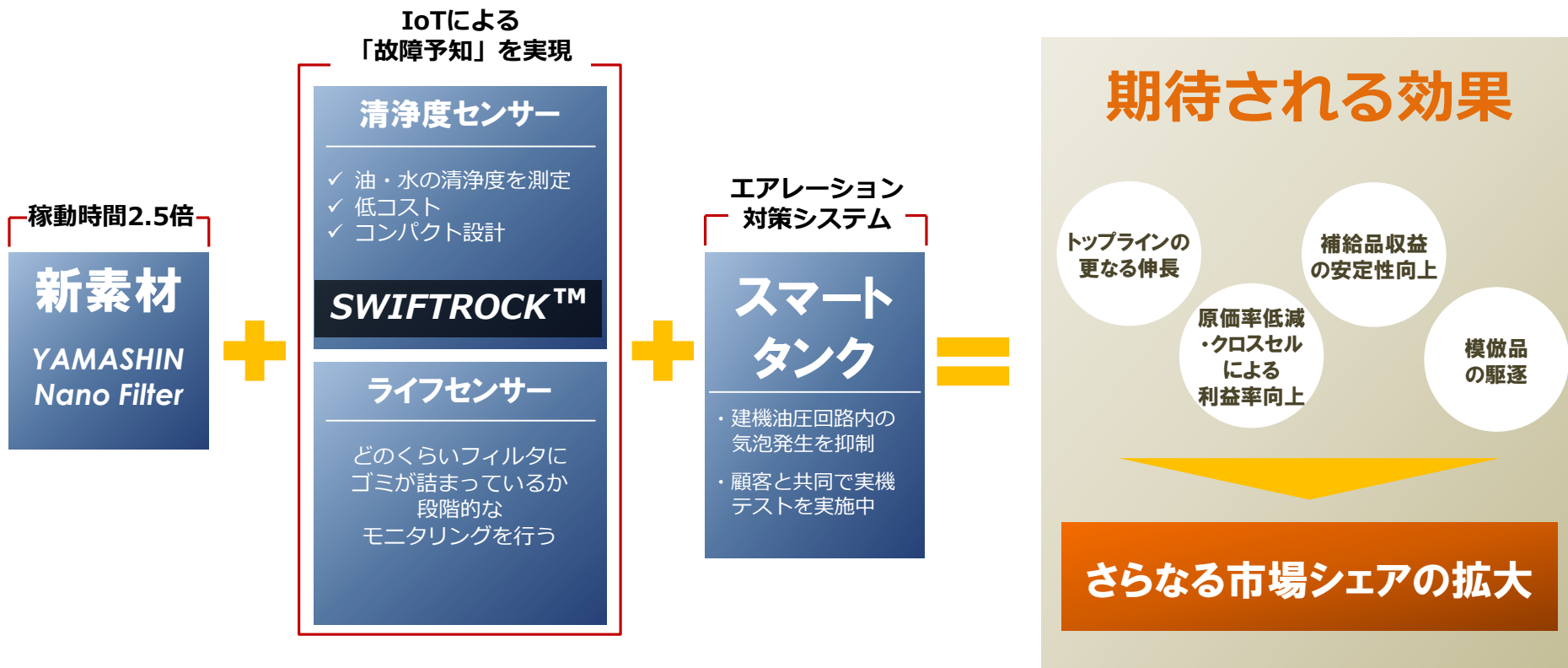
高品質の製品を中国マーケットにも投入



The complex block details the regulatory and product response. On the left, a box with a green background and a plant icon contains the text 'ディーゼルエンジン 排出ガス規制 「Tier4」'. To its right, two bullet points state: '➤ 2020年12月1日 規制開始' and '➤ 各社新型モデルを早急に開発対応中'. In the center, there is an illustration of a yellow cylindrical filter. To the right of the filter, the text reads '高品質の製品を中国マーケットにも投入'. Below the filter is the 'YAMASHIN Nano Filter' logo.

モデルチェンジのタイミングを逃さず、
中国ローカルでもトップシェア獲得へ

新素材とIoT、エアレーション対策システムを組み合わせることで付加価値を最大化。さらなる市場シェアの拡大を図る



建機市場は今後3~5年間は堅調推移

100億円の資金を元手に目標達成に向け積極的に挑戦

事業ポートフォリオの拡大

建機向け油圧フィルタに依存しない
次の成長の柱を育てていく

筋肉質な企業体質の構築

Multipleな生産体制構築
グローバル・サプライチェーン再構築

【3本の柱】

建機フィルタ ✂ プロセス・産業フィルタ ✂ 新素材の展開

PAC18によるコスト低減
R&D拠点向けの大型投資計画
主要マーケットでの生産拠点開設投資

研究開発センターの新設

新素材の量産と
既存製品の生産性向上

M&Aを含む資本/業務提携

30億円

30億円

40億円

研究開発センターの新設

30億円

2019年2月14日

YRP野比（神奈川県横須賀市）に 土地を取得

- ・ R&D一貫体制の確立を実現
- ・ 実機試験場を整備し、顧客要求を迅速に反映
- ・ 知財戦略の強化＝「戦う知財」



(上記は建設後イメージです)

新素材の量産と
既存製品の生産性向上

30億円

佐賀事業所にナノの最新設備を投入

- ・「Yamashin Nano Filter™」の量産設備を設置
 - ・油圧用ハイブリットフィルタの量産供給を開始
- ※ハイブリットフィルタ=ガラス繊維×ナノファイバーを組み合わせたろ材を使用したフィルタ



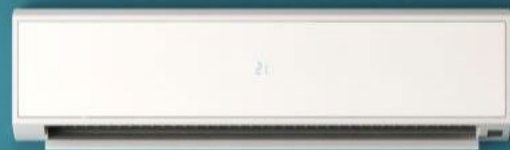
YAMASHIN
Nano Filter

M&Aを含む資本/業務提携

40億円

M&Aを含む資本/業務提携を実施、 会社の付加価値を高める





エアフィルタ

微細繊維により高い集塵力と機能付加により防菌、防カビを実現



防音材

遮音・断熱・不燃特性を活かし、コンパクトで軽量の航空機や船舶を実現



アパレル

極細繊維により高密度で遮熱性の高い機能素材を実現



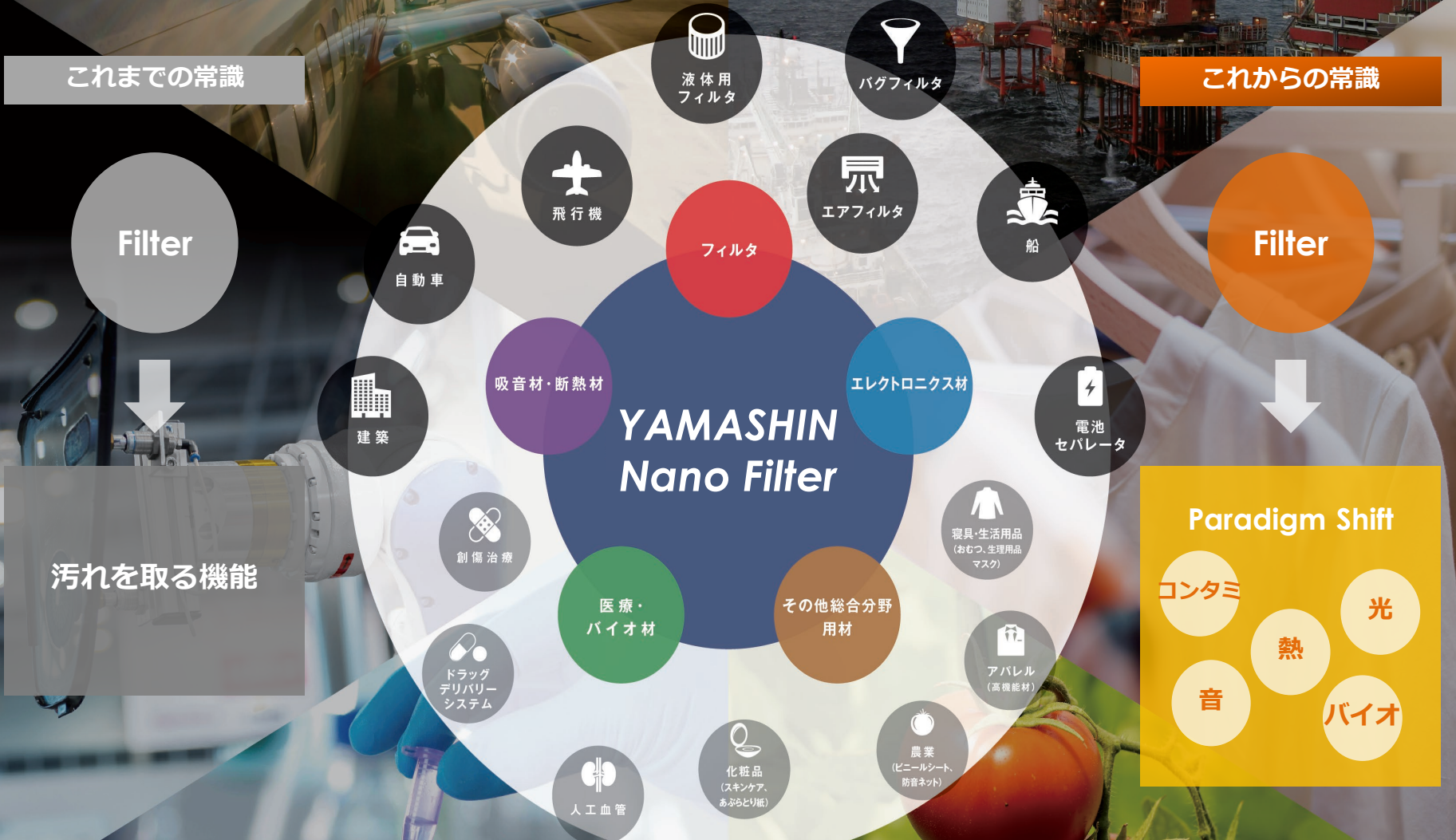
農業

素材の持つ自由度の高さを活かして薄くて断熱性の高いシートの作成が可能に

総合フィルタメーカーへ 飛躍を図る

これまでの常識

これからの常識



Filter

Filter

汚れを取る機能

Paradigm Shift

コンタミ

音

熱

光

バイオ

ヤマシンフィルタとは…

ニッチ、トップ、

グローバル。

確かな技術基盤を

大事にする企業

中期的な方針

新素材

「Yamashin Nano Filter」で

ポートフォリオを拡大

総合フィルタメーカーへ

飛躍を図る

中間配当2.5円、期末配当3.5円の年間6.0円に増配

	17.3期	18.3期	19.3期 期初予想	19.3期 修正予想
1株当たり 配当金	2.4円※1	3.6円※1	5.0円	6.0円
DOE	2.3%	1.9%	1.9%	2.4%
総還元性向※2	25.6%	21.6%	23.8%	26.5%

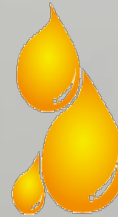
注) 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております

※1 2017年3月期、2018年3月期の配当額については、参考値として上記株式分割後の金額を記載しております

※2 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得 + 株主優待) ÷ 当期純利益

ご清聴ありがとうございました

The Specialist in Filtration
YAMASHIN



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

ヤマシンフィルタ株式会社に関するお問い合わせは 経営企画室まで

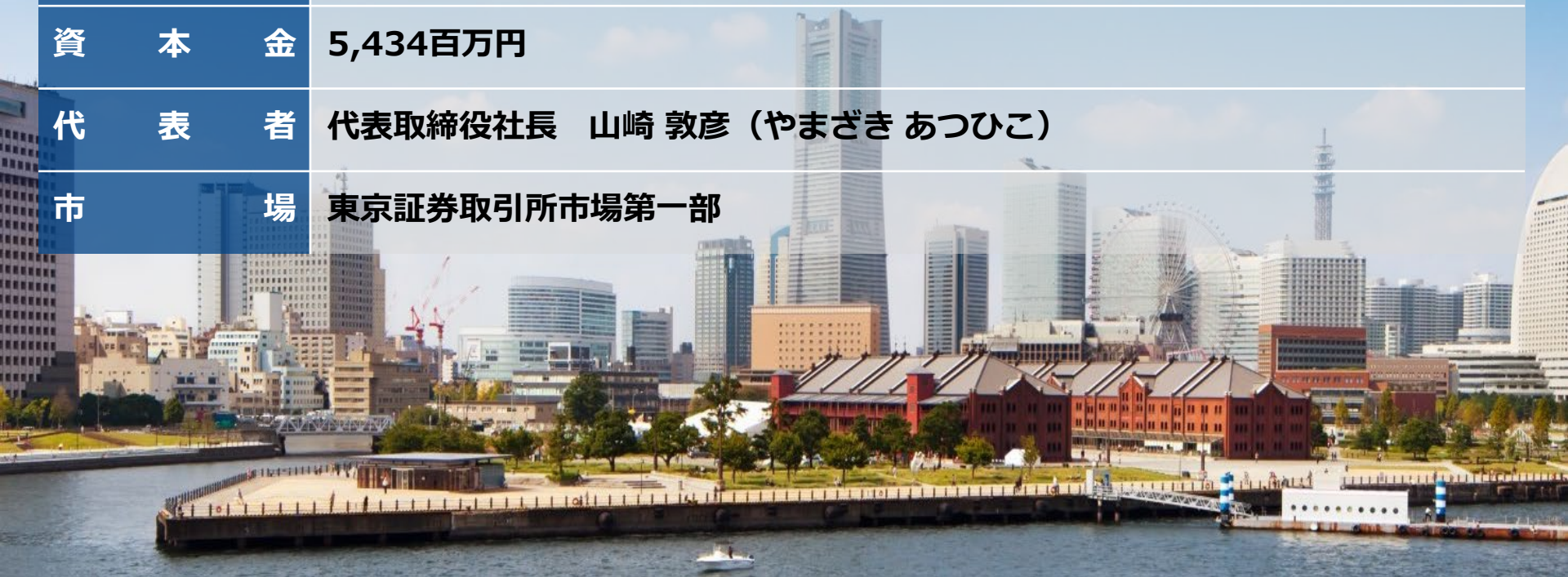
TEL: 045-680-1680

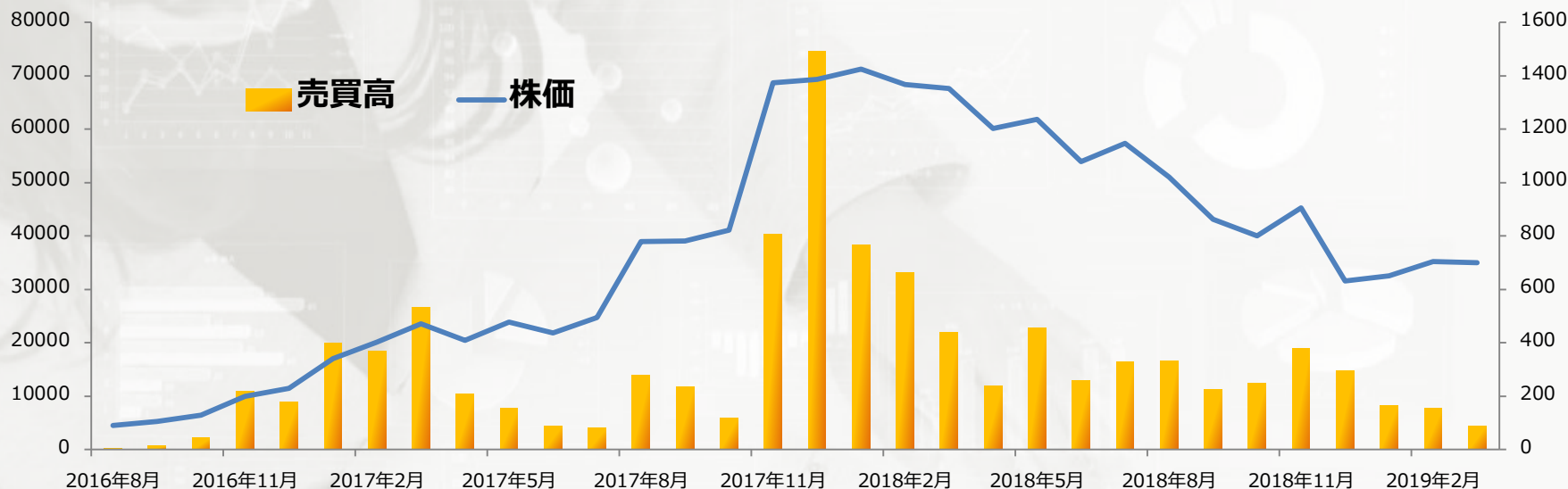
Mail: ir@yamashin-filter.co.jp

証券
コード

6240

商号	ヤマシンフィルタ株式会社（旧 山信工業株式会社）
所在地	神奈川県横浜市桜木町1-1-8 日石横浜ビル16F
設立	1956年4月5日（昭和31年4月5日）
事業内容	建設機械用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ及び関連部品の製造・販売
資本金	5,434百万円
代表者	代表取締役社長 山崎 敦彦（やまざき あつひこ）
市場	東京証券取引所市場第一部





【出所】日経QUICKのデータを基に弊社作成 (左軸 売買高 単位:千株、右軸 単位:円)
 【注記】2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

株主優待は年2回！

年2回



オリジナルQUOカード

500円分 (100株以上)

1000円分 (1000株以上)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 期初 見通し	2019/3期 修正 見通し	19/3期初見通し 対 19/3期修正見通し
	金額	金額	金額	金額	金額
(単位：百万円)					
売上高	10,007	13,168	14,000	14,300	300
売上総利益	4,463	6,074	6,740	6,940	200
売上総利益率	44.6%	46.1%	48.1%	48.5%	0.4Pt
販売管理費	3,505	4,163	4,390	4,540	150
販管比率	35.0%	31.6%	31.4%	31.7%	0.3Pt
営業利益	957	1,910	2,350	2,400	50
営業利益率	9.6%	14.5%	16.8%	16.8%	-
経常利益	934	1,824	2,340	2,370	30
経常利益率	9.3%	13.9%	16.7%	16.6%	△0.1Pt
当期純利益	640	1,249	1,600	1,700	100
純利益率	6.4%	9.5%	11.4%	11.9%	0.5Pt
為替レート AR USD	108.4	110.9	110.0	110.0	
EUR	118.8	129.7	135.0	135.0	